

非小細胞肺癌に対するNKT細胞を用いた免疫細胞治療 (Chiba-NKT)

実施責任医師: 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科 科長 吉野一郎

切除不能進行期または再発非小細胞肺癌に対する新規2nd line治療法の開発

非小細胞肺癌

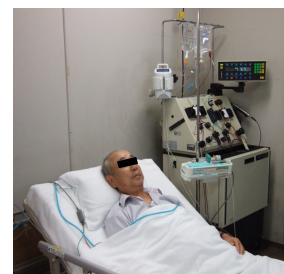
- ・切除不能進行期
- ・再発

対象症例

初回化学療法施行後である
先行化学療法から4週間の休薬期間

高度医療試験治療 (Chiba-NKT)

α GalCer*パルス樹状細胞投与 (4回/3ヶ月)
追跡調査: 2年間
主要評価項目: 全生存期間
予定症例数: 35例



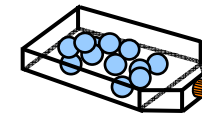
医学部附属病院
輸血部

成分採血

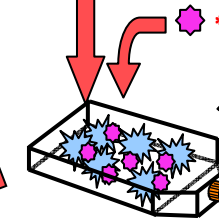


医学部附属病院
未来開拓センター内
細胞調製室

末梢血単核球



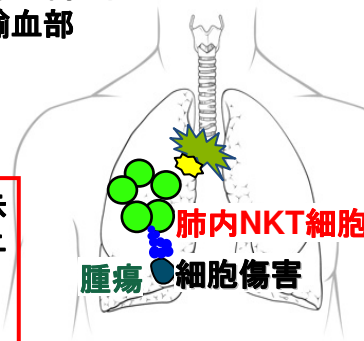
GM-CSF および IL-2
にて培養



α GalCerパルス樹状細胞

* α GalCer: α ガラクトシルセラミド
: NKT細胞を特異的に活性化す
る糖脂質抗原

α -ガラクトシルセラミドを提示
させた樹状細胞を静脈内投与
すると、体内NKT細胞が活性
化され、抗腫瘍効果を示す。



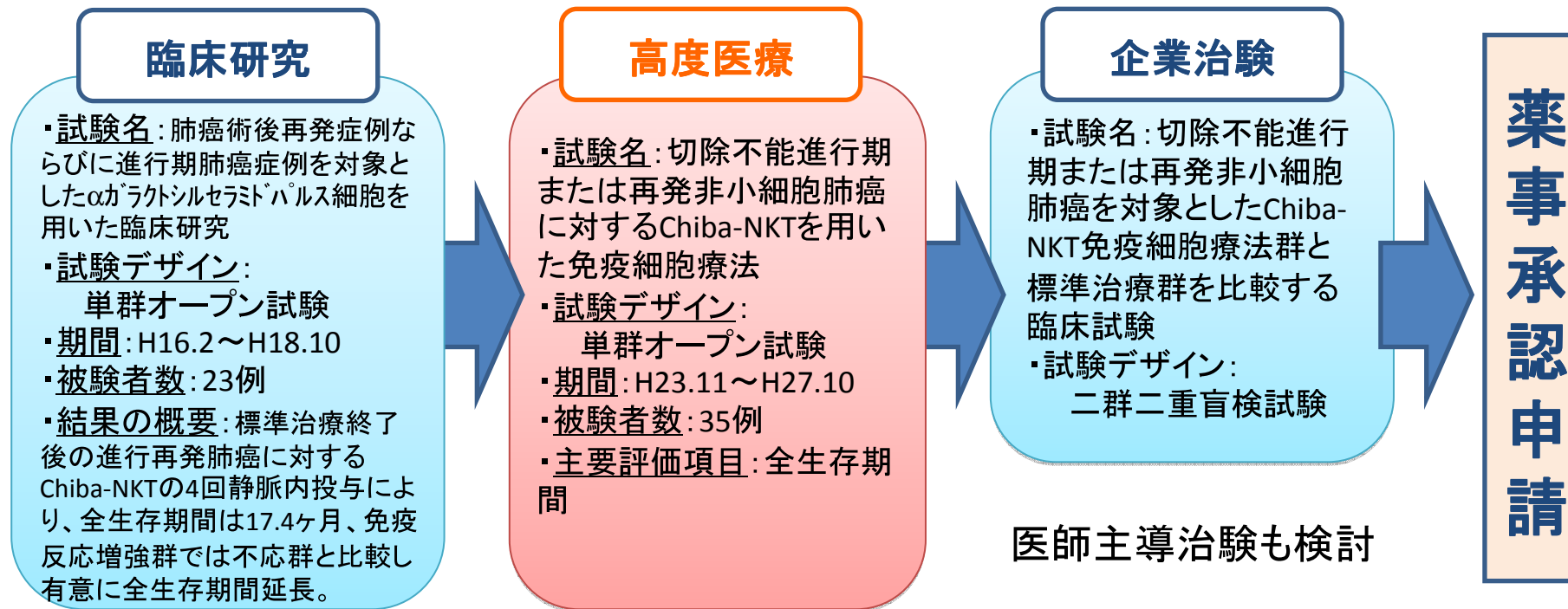
腫瘍 細胞傷害
肺内NKT細胞

点滴静注

薬事承認申請までのロードマップ

試験薬：αガラクトシルセラミドパルス樹状細胞 (Chiba-NKT)

高度医療での適応疾患：切除不能進行期または再発非小細胞肺癌



当該高度医療における

選択基準：切除不能進行期または再発非小細胞肺癌で初回化学療法施行後。20～75歳でPS 0, 1。末梢血NKT細胞存在。

除外基準：自己免疫疾患および肝炎併存、ステロイド使用

予想される有害事象：発熱、全身倦怠感等

欧米での現状

薬事承認：米国(無) 欧州(無)

ガイドライン記載：(無)

進行中の臨床試験(無)